

大勢を正しい道へと導く

「大勢を正しい道へと導いている人たちは、星のようにいつまでも永遠に輝きます」。ダニエル 12:3

151 番の歌 神は呼んでくださる

何を学ぶか*この記事では、ダニエル 12 章 2, 3 節に描かれている、大規模な教育プログラムについての理解の調整を取り上げます。それは、いつ誰によって行われるのでしょうか。地上で生きている人たちがキリストの千年統治が終わった時に生じる最後の試練に備える上で、どのように助けとなりますか。

1. 千年統治の間にどんな素晴らしいことが起きますか。

キリストの千年統治の間に、地上への復活が始まります。これは本当に素晴らしい時となります。私たちは皆、亡くなった愛する人たちに再び会いたいと心から願っています。エホバも同じ気持ちです。（ヨブ 14:15 あなたは呼んでくださり、私はあなたに答えます。あなたはご自分の手で造った人に再び会いたいと願い(*人のことを慕います） 喜ばしい再会が世界中で見られることでしょう。前の記事で学んだ通り、命の書に名前を記されている「正しい人」は、「命の復活」へと出てきます。（使徒 24:15 また、私はこの方たちと同じ希望を持っております。神が正しい人も正しくない人も復活させてくださるという希望です。ヨハ 5:29 良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出て）私たちの愛する人たちの多くは、早い段階で地上へ復活してくることでしょう。*恐らく復活は、終わりの時代に忠実を保って死んだ人から始まり、世代を順にさかのぼっていくことでしょう。もしそうであれば、どの世代の人も、自分が個人的に知っている人が復活してくるのを迎えることができます。いずれにしても、聖書によれば、天への復活は「順番に従って」行われるので、地上への復活も秩序正しく行われると考えることができます。（ヨリ 14:33; 15:23）そして、「正しくない人」、つまり死ぬ前にエホバを知ったりエホバへの忠実を示したりする機会が十分にはなかった人々は、「裁きの復活」へと出てきます。

2-3. (ア) イザヤ 11 章 9, 10 節から、史上最大規模の教育プログラムについて、どんなことが分かりますか。 (イ) この記事ではどんなことを考えますか。

2 (ア) 復活してくる全ての人は、いろいろなことを教えてもらう必要があります。 (イザ 26:9 夜に、私はあなたを慕う気持ちでいっぱいになります。心からあなたを探し求めます。あなたが世界を裁く時、地上の住民は正しさについて学びます; 61:11 大地が芽を生じさせ、庭園がまかれた種を芽生えさせるように、主権者である主エホバは全ての国の人々の前で、正義と賛美を芽生えさせる) それで、史上最大規模の教育プログラムが行われることになります。 (イザヤ 11:9, 10 私の聖なる山のどこにも、荒らしたり危害を加えたりするものはいない。水が海を覆っているように、エホバについての知識が必ず地上に満ちるからである。 10 その日、エッサイの根が立ち上がり、国々のための旗印(*合図のさお)となる。人々は彼に導きを求め(*彼を探し求め), 彼の休み場は栄光に輝くを読む。) どんなことを学ぶ必要があるのでしょうか。復活してくる正しくない

人は、イエス・キリスト、神の王国、贖い、エホバのお名前や宇宙主権に関する論争について教えてもらう必要があります。また、正しい人も最新の理解を学ぶ必要があります。エホバは、地球に関する目的を徐々に明らかにしているからです。また、聖書全体が完成するよりもずっと前に忠実を保って死んだ人もいます。ですから、正しくない人も正しい人も、学ぶべきことがたくさんあるのです。

3(イ)この記事では、次の点を考えます。①この大規模な教育プログラムは、どのようにして行われていくのでしょうか。②この教育にどう応じるかは、命の書にいわばインクで名前を記してもらうことと、どんな関係がありますか。」私たちにとって、こうした点を考えることはとても重要なことです。そして、これから考える通り、ダニエル書と「啓示」の書の預言は、死者が復活する時にどんなことが起きるかをよく理解する上で助けとなります。ではまず、ダニエル12章1, 2節で起きると予告されている、わくわくするようなことについて考えていきましょう。

「地面の中で眠っている多くの人が目を覚します」

4-5. ダニエル12章1節から、終わりの時にについてどんなことが分かりますか。

4 ダニエル12:1 その時、あなたの民のために立っている偉大な長ミカエル(意味：誰が神のようだらうか)が行動を起こし(d*立ち上がり)ます。そして、国が始まってからその時まで生じたことがない苦難の時が来ます。その時、あなたの民、書に記されている人は皆、逃れますを読む。ダニエル書から、終わりの時に物事がどんな順番で生じるかが分かります。ダニエル12章1節は、ミカエルつまりイエス・キリストが「[神]の民のために立っている」と述べています。預言のこの部分は、1914年にイエスが天の王国の王として任命された時、実現し始めました。

5 またダニエルは、「国が始まってからその時まで生じたことがない苦難の時」にイエスが「行動を起こ」すとも告げられます。この「苦難の時」とは、マタイ24章21節その時、世界の始めから今まで起きたことがなく、いえ、二度と起きないような大患難があるに出てくる「大患難」のことです。イエスは、苦難の時の終わり、つまりハルマゲドンの時に神の民を守るために行動を起こすのです。「啓示」の書はこの神の民のことを「大群衆」と呼び、「大患難から出てくる」と述べています。(啓7:9 その後、私が見ると、全ての国や民族や種族や言語の人々の中から来た、誰も数え切れない大群衆が、王座と子羊の前に立っていた。その人たちは白くて長い衣服を着て、ヤシの枝を持っていた、14 それで私がすぐその長老に、「それはあなたが知っておられます」と言うと、彼は私に言った。「これは大患難から出てくる人たちです。この人たちは、自分の長い衣服を子羊の血で洗って白くしましたそれで私がすぐその長老に、「それはあなたが知っておられます」と言うと、彼は私に言った。「これは大患難から出てくる人たちです。この人たちは、自分の長い衣服を子羊の血で洗って白くしました)

6. 大群衆が大患難を生き残った後、どんなことが生じますか。 (この号に掲載されている、地上への復活に関する「読者からの質問」も参照。)

6 ダニエル12:2 地面の中で眠っている多くの人が目を覚します。ある人々は永遠の命を得、ある人々はとがめられて永久に嫌悪されますを読む。大群衆がこの苦難の時を生き残った後、次にどんなことが生じ

るでしょうか。以前は、ダニエル 12章 2節地面の中で眠っている多くの人が目を覚します。ある人々は永遠の命を得、ある人々はとがめられて永久に嫌悪されますは終わりの時代に生じる、神に仕える人々の比喩的な復活について述べている、と理解していました。*この説明は、「ダニエルの預言に注意を払いなさい」の本の第17章と、「ものの塔」1987年7月1日号21-25ページに載せられている理解を調整するものです。しかしこの預言は、新しい世界で生じる文字通りの復活のことを指しています。どうしてそう言えるでしょうか。ここで「地面」と訳されている言葉は、ヨブ 17章 16節それ(ヨブの望み)は墓(ヘ語シェオル)の門の所へ下っていく。私たちが皆で土の中に下る時にでは「土」と訳されています。文脈を見ると、それは「墓」を表していることが分かります。ですから、ダニエル 12章 2節は文字通りの復活のことを述べているのです。その復活は、終わりの時代が終わった後、ハルマゲドンの戦いの後に生じます。

7. (ア) 復活したある人々が「永遠の命」を得るとは、どういうことですか。 (イ) その復活が「さらに勝った復活」と言えるのはなぜですか。

7では、ダニエル 12章 2節で、復活したある人々が「永遠の命」を得ると言われているのは、どういう意味でしょうか。(ア)復活してくる人々は、千年統治の間にエホバとイエスを知り、あるいは知り続け、このお方に従うなら、最終的に永遠の命を得ることができる、ということです。(ヨハ 17:3)永遠の命を得るには、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストのことを知る必要があります)この復活は、過去の復活よりも「さらに勝った復活」と言えます。(ヨハ 11:35女性たちは、死んだ家族を復活させてもらいました。ほかの人々は、さらに勝った復活を経験するために、何らかの贖いによる釈放を受け入れなかったので、拷問に掛けられました) (イ)なぜなら、過去に復活した人々は、やがて再び死んでしまったからです。(最終的に永遠の命を得る復活)

8. 復活したある人々が「とがめられて永久に嫌悪され」るとは、どういう意味ですか。

8とはいえ、復活してくる人々がエホバの教育プログラムを受け入れようとするわけではありません。ダニエルの預言によれば、ある人々は「とがめられて永久に嫌悪されます」。こうした反抗的な態度を取る人々は、命の書に名前が記されることなく、永遠の命を得ることもありません。「永久に嫌悪され」、滅ぼされることになります。ですから、ダニエル 12章 2節は、復活してくる人々が最終的にどうなるかについて述べている、ということです。それは、一人一人が復活した後にどんな行動をするかによって決まります。*対照的に、使徒 24章 15節に出てくる「正しい人」や「正しくない人」、またヨハネ 5章 29節に出てくる「良いことをした人」や「悪いことを行った人」という表現は、死ぬ前に行ったことに焦点を当てています (啓 20:12)さらに見ると、死んだ人々が、大きな者も小さな者も、王座の前に立っており、数々の巻物が開かれた。別の巻物、すなわち命の巻物も開かれた。死んだ人々は、数々の巻物に書かれている事柄に基づき、各自の行いに応じて裁かれた) 永遠の命を得られるかどうかが決まるのです。

「大勢を正しい道へと導いている」

9-10. 大患難の後、さらにどんなことが生じますか。「天空のように明るく輝く」くのは誰ですか。

9 ダニエル 12:3 **洞察力がある人たちは、天空のように明るく輝きます。大勢を正しい道へと導いている人たちは、星のようにいつまでも永遠に輝きます**を読む。この「**苦難の時**」の後、ほかにどんなことが生じるでしょうか。ダニエル 12 章 2 節だけでなく **3 節**からも、**大患難の後に**どんなことが生じるかを知ることができます。

10 「天空のように明るく輝く」くのは誰でしょうか。マタイ 13 章 43 節→にあるイエスの言葉がヒントになります。そこにはこうあります。「その時、**正しい人たちは父の王国で**太陽のように明るく**輝きます**」。この文脈でイエスは、「**王国の子たち**」のことを話していました。「**王国の子たち**」とは、**天の王国で**イエスと共に仕えるよう選ばれた人たちのことです。(マタ 13:38 番は世界です。良い種は王国の子たち…) ですから、ダニエル 12 章 3 節は、**天に行くよう選ばれた者たち**と千年統治の間に彼らが行う事柄について述べているに違いありません。



14万4000人は、イエス・キリストとよく協力して、千年統治の間に行われる教育プログラムを監督する。(11節を参照。)

11-12. 14万4000人は千年統治の間にどんなことを行いますか。

11 天に復活した者たちは、どのようにして「**大勢を正しい道へと**導くのでしょうか。イエス・キリストとよく協力して、千年統治の間に**地上で**行われる教育プログラムを**監督**します。14万4000人は、**王として治める**だけでなく、**祭司としての役割も果たします。** (啓 1:6) (この方は私たちを、自分の父である**神に仕える王**および**祭司**としてくださいました)、まさにこの方に、栄光と力が永遠にありますように。アーメン;5:10 そして彼らを、私たちの**神に仕える王**および**祭司**とし、彼らは王として地上を治めるのです;20:6 第一の復活で生き返る者は、幸福な者、聖なる者である。その者たちに対して、第二の死は何の力(*権威)もない。彼らは**神とキリストの祭司となり**、1000年の間キリストと共に**王として治める**) それで、「**人々を癒やす**」ことに加わります。**不完全な人間が完全になる**よう助けるのです。(啓 22:1, 2) また天使は、命の水の川を私に見せてくれた。その川は水晶のように澄み切っていて、神と子羊の座から流れ出ており、2都市の大通りの中央を流れていた。川の両側には**命の木**があった。それらの木は年に12回、毎月実を結び、**木の葉**は人々を**癒やすためのもの**だった。エゼ 47:12 川の両岸では、あらゆる果樹が育ちます。その葉は枯れず、実がならなくなることはありません。毎月、新しい実がなります。木を潤す水は聖なる所から流れ出ているからです。実は食物になり、葉は**人を癒やします**) こうした務めを果たすことは、本当に大きな喜びとなるに違いありません。

12 正しい道へと導かれる「大勢」の人には、誰が含まれるのでしょうか。復活してくる人たち、ハルマゲドンを生き残る人たち、そして、新しい世界で生まれてくるであろう子供たちです。千年統治が終わる時までに、地上で生きている人たちは皆、完全になっています。では、それらの人たちの名前が命の書に“鉛筆”ではなく“インク”で記されるのはいつでしょうか。

最後の試練

13-14. 完全になった人たち全ては、永遠の命を得るためにどんなことをする必要がありますか。

13 完全になれば、自動的に永遠の命を得られるのでしょうか。そうではありません。アダムとエバの例を考えてみましょう。2人は完全でしたが、永遠の命を得るためにエホバ神への従順を示す必要がありました。そして残念なことに、2人はエホバに従いませんでした。 (ロマ 5:12 このような訳で、1人の人によって人類に罪(*)が入り、罪によって死が入り、こうして、全ての人が罪人になったために、死が全ての人に広がったように—)

14 千年統治の終わりまでに、地上にいる人たちは皆、完全になっています。では、全ての人がエホバの統治をいつまでも心から支持するのでしょうか。それとも、アダムとエバのように、完全ではあってもエホバに不忠実になる人がいるでしょうか。こうした点が明らかにされなければなりません。どのようにして明らかになるのでしょうか。

15-16. (ア) 完全になった人たち全員がエホバへの忠実を試されるのはいつですか。 (イ) 最後の試練の結果、どうなりますか。

15 (ア) サタンは1000年の間、閉じ込められることになります。その間は誰のことも惑わすことができません。しかし1000年が終わると、サタンは解放され、完全になった人たちを惑わそうとします。(イ) その時、完全になった人たち全ては、エホバのお名前を敬い、主権を支持するかどうかをはっきり示すことになります。 (啓 20:7-10) 1000年が終わるとすぐ、サタンは牢獄から解放される。 8 彼は出でていって、地の四方にいる人々(*国民)、ゴグとマゴグを惑わし、戦争のために集める。その人々の数は海の砂のようである。 9 彼らは地上全体に広がって進み、聖なる人たちの宿営と愛されている都市を取り囲んだ。しかし、天から火が降ってきて彼らを焼き尽くした。 10 そして、人々を惑わしていた悪魔は火と硫黄の湖に投げ込まれた。そこにはすでに野獸(地上の主権国家)と偽預言者(英米世界強国)もおり、彼らは永久に昼も夜も苦しめられる(*拘束される) そして、それに基づいて、命の書に名前が“インク”で記されるかどうかが決まります。

16 数は明らかにされていませんが、一部の人たちはアダムとエバのようにエホバの統治を退けます。こうした人たちはどうなるでしょうか。啓示 20 章 15 節→には、「命の書に名前が書かれていない者は皆、火の湖に投げ込まれた」とあります。エホバに対して反抗的な態度を取る人たちは、完全に滅ぼされるのです。とはいっても、完全になった人たちの多くは最後の試練を通過するでしょう。その人たちの名前は、命の書に“インク”で記されることになります。

「終わりの時」

17. 天使はダニエルに、私たちの時代についてどんなことを伝えましたか。 (ダニエル 12:4, 8-10)

17 これから起きたことについて考えると、本当にわくわくします。とはいえ、ダニエルは天使から、私たちが生きている「終わりの時」に関する重要なメッセージも聞きました。（ダニエル12:4）ダニエル、終わりの時までこれらの言葉を秘密にしておき、この書を封印しておきなさい。多くの人が巡り歩き(*それ[書]を徹底的に調べ)，真の知識が満ちあふれます、8-10私は聞いたが理解できなかったので、こう尋ねた。「これらの事柄はどんな結末を迎えるのでしょうか」。9彼は言った。「ダニエル、行きなさい。これらの言葉は終わりの時まで秘密にされ、封印されるからです。10多くの人が自分を清めて白くし、精錬されます。悪い人々は悪いことを行い、誰一人として理解しません。しかし、洞察力がある人々は理解します」を読む。テモニ3:1-5このことを知っておきなさい。終わりの時代は困難で危機的な時になります。人々は自分を愛し、お金を愛し、自慢ばかりし、傲慢で、神や人を冒瀆し、親に従わず、感謝せず、不忠実に(*搖るぎない愛を持たなく)なります。3自然な愛情を持たず、全く人に同意しようとせず、中傷し、自制心がなく、乱暴で、善いことを愛しません。4人を裏切り、強情で、思い上がり、神ではなく快楽を愛し、5信心深く見えても実際には神を敬っていません。こういう人たちから離れなさい）天使はダニエルに、「真の知識が満ちあふれます」と言いました。つまり、神に仕える人たちがダニエル書の預言をいっそうよく理解するようになるということです。そして天使は、終わりの時に「悪い人々は悪いことを行い、誰一人として理解しません」とも言いました。

18.悪いことを行っている人々は、間もなくどうなりますか。

18 現代、悪いことを行っている人たちがうまくやりおおせているように思えることがあるかもしれません。（マラ3:14, 15あなたたちは言う。『神に仕えても無駄だ。神への務めを守り、大軍を率いるエホバの前で厳粛に歩んできた。でもそれが何になっただろう。15これからは、思い上がった人々は幸せだと言おう。悪いことを行う人々は成功する。彼らは神を試しても、うまくやりおおせている』）でもイエスは間もなく、ヤギのような悪い人たちを裁き、羊のような人々から分けます。（マタ25:31-33人の子は栄光を帶びて、全ての天使と共に来ると、その時、栄光の座に座ります。32全ての国の人々が彼の前に集められ、人の子は、羊飼いが羊をヤギから分けるように、人々を分けます。33そして羊を自分の右に、ヤギを自分の左に置きます）悪い人々が大患難を生き残ることはあります。復活して新しい世界で生きることもあります。そうした人々の名前が、マラキ3章16節で述べられている「記録の書」に記されることはないのです。

19. 私たちは今どんなことを行うべきですか。なぜですか。（マラキ3:16-18）

19 今こそ、自分が悪い人ではないことを示すべき時です。（マラキ3:16-18）その時、エホバを畏れる人々が仲間と語り合っていた。エホバはじっと耳を傾けていた。エホバを畏れる人と神の名について思い巡らす(*考える/ifを大切にする)人のために、神の前で記録の書(*覚えておくための書)が記された。17大軍を率いるエホバは言う。「私が特別な(*宝のような)所有物を生み出す日、彼らは私のものとなる。親が従順な子供を思いやるように、私は彼らを思いやる。18あなたたちは再び、正しい人と悪い人、神に仕える人と仕えない人の違いを目にすることがあります。私たちもぜひ、その1人になりたいと思います。）エホバは、「特別な所有物」つまりご自分にとって宝のような人々を集めています。私たちもぜひ、その1人になりたいと思います。



ダニエルや私たちの愛する人たちを含め、大勢の人が新しい世界で報いを受けるために「立ち上がる」。それは本当に素晴らしい時となる。（20節を参照。）

20. ダニエルは最後にどんなことを約束されましたか。あなたがその約束の実現を楽しみにしているのはなぜですか。

今は本当にわくわくするような時代です。でも、間もなくさらに素晴らしいことが生じます。全ての悪が除き去られるのを目撃することができるのです。そしてその後、ダニエルに対するエホバの約束が実現します。ダニエルはこう言われました。「あなたは……日々の終わりに、報いを受けるために立ち上がります」。（ダニ 12:13 あなたは最後まで進んでいきなさい。あなたは休みますが、日々の終わりに、報いを受けるために(*自分の取り分のために/割り当てられた場所で)立ち上がります）あなたもダニエルやあなたの愛する人たちが「立ち上がる」のを待ちにしていることでしょう。では、忠実を保つためにできる限りのことを行ってください。そうすれば、あなたの名前はエホバの命の書にいつまでも残ることでしょう。

以下の聖句をどのように説明できますか

1. ダニエル 12:1

・S04 ダニエル書から、終わりの時に物事がどんな順番で生じるかが分かる。ダニエル 12 章 1 節は、ミカエルつまりイエス・キリストが「[神]の民のために立っている」と述べて、1914 年にイエスが天の王国の王として任命された時、実現し始めた。

・S05 「国が始まってからその時まで生じたことがない苦難の時」にイエスが「行動を起こす」とも告げられます。この「苦難の時」とは、マタイ 24 章 21 節に出てくる「大患難」のこと。イエスは、苦難の時の終わり、つまりハルマゲドンの時に神の民を守るために行動を起こす。「啓示」の書はこの神の民のことを「大群衆」と呼び、「大患難から出てくる」と述べている。

2. ダニエル 12:2、3

・S07-08 復活したある人たちが「永遠の命」を得ると言われているのは、復活してくる人たちが、千年統治の間にエホバとイエスを知り、あるいは知り続け、このお方に従うなら、最終的に永遠の命を得ることができる、ということ。ある人たちが「とがめられて永久に嫌悪される」のは、エホバの教育プログラムを受け入れず、反抗的な態度を取るため。これらの人たちは、命の書に名前が記されず、永遠の命を得ることもない。「永久に嫌悪される」つまり滅ぼされる。

・S09-11 「天空のように明るく輝くのは、「王国の子たち」つまり天の王国でイエスと共に仕えるよう選ばれた人たちで、イエス・キリストとよく協力して、千年統治の間に地上で行われる教育プログラムを監督し「大勢を正しい道へと」導く。

3. ダニエル 12:4、8-10

・S17-18 私たちが生きている「終わりの時」に「真の知識が満ちあふれ」、神に仕える人たちがダニエル書の預言をいっそうよく理解するようになる。一方で、終わりの時に「悪い人たちは悪いことを行い、誰一人としてその預言を理解(できず)」、間もなくイエスによって滅ぼされる。悪い人たちの名前が「記録の書」に記されることはないので、大患難を生き残ることも、復活して新しい世界で生きることもない。

80番の歌 「エホバが善い神であること」を味わい知る

△ この記事では、[ダニエル 12 章 2, 3 節](#)に描かれている、大規模な教育プログラムについての理解の調整を取り上げます。それは、いつ誰によって行われるのでしょうか。地上で生きている人たちがキリストの千年統治が終わった時に生じる最後の試練に備える上で、どのように助けとなりますか。

△ 恐らく復活は、終わりの時代に忠実を保って死んだ人から始まり、世代を順にさかのぼっていくことでしょう。もしそうであれば、どの世代の人も、自分が個人的に知っている人が復活してくるのを迎えることができます。いずれにしても、聖書によれば、天への復活は「順番に従って」行われるので、地上への復活も秩序正しく行われると考えることができます。 ([コリー 14:33; 15:23](#))

△ この説明は、[「ダニエルの預言に注意を払いなさい」の本の第 17 章](#)と、[「ものの塔」1987 年 7 月 1 日号 21-25 ページ](#)に載せられている理解を調整するものです。

△ 対照的に、[使徒 24 章 15 節](#)に出てくる「正しい人」や「正しくない人」、また[ヨハネ 5 章 29 節](#)に出てくる「良いことをした人」や「悪いことを行った人」という表現は、死ぬ前に行ったことに焦点を当てています。

△ [\(ダニ 12:3\)](#) 洞察力がある人々は、天空のように明るく輝きます。大勢を正しい道へと導いている人々は、星のようにいつまでも永遠に輝きます。

△ [\(ヨブ 14:15\)](#) あなたは呼んでください、私はあなたに答えます。あなたはご自分の手で造った人に再び会いたいと願い*ます。

または、「人のことを慕い」。

読者からの質問

どんな人が地上に復活しますか。その人たちはどうな復活を経験しますか。

聖書は何と述べているでしょうか。

使徒24章15節には、「神が正しい人も正しくない人も復活させてくださる」とあります。正しい人とは、死ぬ前に神に従順だった人で、その人たちの名前は命の書に記されています。（マテ3:16）正しくない人には、エホバについて学ぶ機会が十分にないまま亡くなった人たちが含まれています。その人たちの名前は、命の書に記されていません。

ヨハネ5章28, 29節には、使徒24章15節で述べられているのと同じ、2つのグループが出てきます。イエスはこう言いました。「良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出てきます」。正しい人は、生きている間に良いことを行いました。その人たちの名前は命の書に記されているので、命の復活へと出てきます。一方、正しくない人は生きている間に悪いことを行いました。その人たちの名前は、命の書にまだ記されていないので、裁きの復活へと出てきます。その後、観察され、評価されることになります。その期間の間に、エホバについて学び、命の書に名前を記してもらうチャンスが与えられます。

啓示20章12, 13節によると、復活してきた人たちは皆、「数々の巻物に書かれている事柄」、つまり新しい世界で与えられる新しいおきてに従う必要があります。従わない人たちは滅ぼされることになります。（イザ65:20）

ダニエル12章2節の預言によると、死の眠りに就いている人は目を覚まし、「ある人たちは永遠の命を得、ある人たちはとがめられて永久に嫌悪されます」。この聖句は、復活してくる人たちが最終的にどうなるかを述べています。「永遠の命を得[る]」か、「永久に嫌悪され[る]」かのどちらかです。それで、1000年が終わると、ある人たちは永遠の命を得、ある人たちは永遠に滅ぼされるのです。（啓20:15; 21:3, 4）例えで考えてみましょう。復活してくる2つのグループは、外国に移住したいと思っている人と似ています。正しい人は、就労ビザや居住ビザをもらって、ある程度の権利や自由を認められている人のようです。一方、正しくない人は、短期ビザや観光ビザをもらった人のようです。そのような人は、その国にとどまりたいと思う場合、自分がその条件を満たしていることを示す必要があります。同じように、復活してくる正しくない人も、エホバのおきてに従い、パラダイスで生きるための条件を満たしていることを示す必要があります。また、どんなビザで入国したかに関わりなく、市民権を得られる人もいれば、国外追放になる人もいます。この決定は、その国でどんな態度や行動を取ったかに基づいて決まります。同じように、復活してくる全ての人が最終的にどうなるかは、新しい世界でエホバに忠実であるかどうか、どんな行動を取るかに懸かっています。

エホバは、愛の神であるだけでなく、公正の神でもあります。（申32:4、詩33:5）正しい人も正しくない人も復活されることによって、愛を示します。とはいえ、ご自分の善惡の基準に従うことを全ての人に求めます。エホバを愛し、エホバの基準に従って生きる人だけが、新しい世界で永遠の命を与えられるのです。（記事は以上）